

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	第43週	第42週	第43週		第42週		第43週		第42週		第43週		第42週		第43週		第42週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	3	4	0	2	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	19	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	108	88	2	0	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0
感染性胃腸炎	113	107	49	9	18	7	46	2	16	0	0	5	0	6	3	2	2	1
水痘	20	11	0	2	2	2	0	1	2	1	0	0	0	1	0	1	0	0
手足口病	25	24	3	0	5	1	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	1
伝染性紅斑	32	23	4	9	1	15	4	0	0	0	0	9	1	15	0	0	0	0
突発性発疹	26	21	0	0	5	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0
ヘルパンギーナ	46	59	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
流行性耳下腺炎	4	8	0	1	2	3	0	0	1	0	0	1	1	3	0	0	0	0
RSウイルス感染症	89	72	6	0	3	0	6	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	15	20	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0

※平成30年1月1日より百日咳が全数把握疾患となりました。また、風しんの届出が「診断後7日以内」から「診断後直ちに」と変更になりました。
 ※平成30年5月1日より急性弛緩性麻痺が全数把握疾患となりました。

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地域の状況	
<p>流行中</p> <p>〈RSウイルス感染症〉 RSウイルスの感染による呼吸器感染症です。症状は軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々です。感染経路は飛沫感染、接触感染です。</p>	<p>※飛沫感染 患者の咳やくしゃみのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことで感染します。マスクの着用や咳エチケットを実施してください。</p> <p>※接触感染 細菌が付着した手で口や鼻に触れることで感染します。手洗い、うがい、頻繁に人が触れる場所(ドアノブ等)についての環境整備など基本的な対策を徹底することが必要です。</p>
<p>小流行中</p> <p>現在、小流行中の感染症はありません。</p>	

インフルエンザの流行に備えましょう！！

- ・県内では第43週に定点医療機関より3件の報告がありました。
- ・昨シーズンは第48週で1定点当たりのインフルエンザ患者報告数が1.00を超え流行開始しました。
- ・現時点では、県全体の患者報告数は多くはありませんが、今後の流行に備え、予防対策に努めましょう。

〈インフルエンザの予防について〉

① 流行前のワクチン接種

インフルエンザワクチンは、感染後に発症する可能性を低減させる効果と、発症した場合の重症化防止に有効と報告されています。

② 飛沫感染対策としての咳エチケット

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染です。咳やくしゃみなどが出るときはマスクをするなど、咳エチケットを心がけてください。

③ 外出後の手洗い等

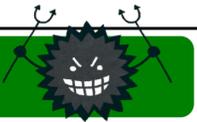
手洗いは接触や飛沫感染などを感染経路とする感染症対策の基本です。また、アルコール製剤による手指衛生も効果があります。

④ 適度な湿度の保持

乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度（50～60%）を保つことが有効です。



風しんに注意しましょう



- ・全国で風しん患者の発生報告が増加しており、第42週で1486例の報告がありました。30代～50代の男性を中心に感染が拡大しています。
- ・福島県内では第37週に福島市より風しんの発生報告があつて以降、第43週までに7例の発生報告がありました。
- ・風しん患者との接触歴があるものや風しんが流行している関東方面に訪れた後に発生している状況です。
- ・福島県内の発生報告は男性のみで、年齢は20代～50代です。〈予防接種を受けましょう〉
- ・平成18年4月から2回の予防接種が定期接種となりました。
- ・予防接種は生まれた日や性別によって定期予防接種の対象になった時期が違います。母子手帳等で予防接種を受けた記録を確認しましょう。
- ・妊娠初期に風しんに罹患すると、風しんウイルスが胎児に感染し、出生児に先天性風しん症候群(CRS)と総称される障がいを引き起こすことがあります。妊娠を希望されている女性、パートナーの方は予防接種をご検討ください。
- ・予防接種の助成の有無はお住まいの市町村によって異なります。助成の有無・内容についてはお住まいの市町村にお問い合わせください。

この情報に関するお問い合わせ先: 県中保健福祉事務所 医療薬事課 感染症予防チーム

TEL: 0248-75-7818

E-mail: kenchu_kansensyoyobou@pref.fukushima.lg.jp